

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月12日
【四半期会計期間】	第78期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	花月園観光株式会社
【英訳名】	KAGETSUENKANKO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松尾 嘉之輔
【本店の所在の場所】	横浜市中区桜木町三丁目7番2号
【電話番号】	045(228)8860
【事務連絡者氏名】	総務部長 堤 道雄
【最寄りの連絡場所】	横浜市中区桜木町三丁目7番2号
【電話番号】	045(228)8860
【事務連絡者氏名】	総務部長 堤 道雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第77期 第2四半期 累計期間	第78期 第2四半期 累計期間	第77期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	173,495	192,329	366,341
経常利益 (千円)	14,467	54,692	55,461
四半期(当期)純利益 (千円)	48,347	54,148	54,755
持分法を適用した場合の投資損失 (千円)	-	5,568	32,542
資本金 (千円)	883,300	883,300	883,300
発行済株式総数 (千株)	17,666	17,666	17,666
純資産額 (千円)	859,085	919,066	863,131
総資産額 (千円)	1,394,485	1,500,551	1,466,435
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	2.75	3.08	3.11
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	61.6	61.2	58.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	34,327	120,252	84,185
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	20,510	4,493	77,260
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	5,559	54,271	47,279
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	102,895	124,757	54,283

回次	第77期 第2四半期 会計期間	第78期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.72	1.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融政策などにより、緩やかな回復基調の動きが見られるものの、消費税増税に伴う物価の上昇、ガソリン価格の高騰や電気料金の値上がりなどに加え、夏場の天候不順など、消費活動を抑制する要因により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が事業の主体をおく競輪業界におきましても、トップ選手の選手会退会騒動に端を発した出場自粛問題や、車券売上高の減少傾向に歯止めがかからないなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は各サテライトの更なる効率的な管理・運営に努め増収を図ってまいりました。当社の業務受託先であるサテライト横浜においては、投票機器の更新を行い、これまでの3場発売から4場発売を実現しております。また、昨年6月に営業を再開したサテライトかしまは、業務委託先を通して積極的に宣伝広告・ファンサービス等を行い順調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1億9千2百万円(前年同四半期 1億7千3百万円)となりました。営業利益は5千2百万円(前年同四半期 営業利益1千3百万円)、経常利益は5千4百万円(前年同四半期 経常利益1千4百万円)、四半期純利益はサテライトかしま運営協議会からの受取設備負担金5百万円を特別利益に計上したこと等により、5千4百万円(前年同四半期 四半期純利益4千8百万円)となりました。

なお、当社は、競輪関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間においては、税引前四半期純利益を5千8百万円計上いたしました。また、資金支出の伴わない減価償却費2千1百万円等により第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、1億2千4百万円となりました。

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

営業活動の結果得られた資金は1億2千万円となりました。これは主に、当第2四半期累計期間は税引前四半期純利益を5千8百万円計上し、資金支出の伴わない減価償却費2千1百万円、未払消費税等の増加1千万円、預り金の増加1千8百万円があったこと等によるものです。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >

投資活動の結果得られた資金は4百万円となりました。これは、保険解約返戻金の受取4百万円があったことによるものです。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

財務活動の結果使用した資金は5千4百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2千3百万円、リース債務の返済による支出2千5百万円があったこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,666,000	17,666,000	東京証券取引所市場第二部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	17,666,000	17,666,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	17,666,000	-	883,300	-	399,649

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社東京ドーム	東京都文京区後楽1-3-61	4,198	23.77
株式会社松尾工務店	横浜市鶴見区鶴見中央4-38-35	3,544	20.07
神奈川県	横浜市中区日本大通1	1,296	7.34
横浜市	横浜市中区港町1-1	966	5.47
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・京浜 急行電鉄株式会社退職給付信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	812	4.60
株式会社横浜銀行	横浜市西区みなとみらい3-1-1	624	3.54
横須賀市	神奈川県横須賀市小川町11	555	3.15
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	466	2.64
松戸公産株式会社	千葉県松戸市上本郷594	150	0.85
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	102	0.58
計	-	12,717	71.99

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 86,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,448,000	17,448	-
単元未満株式	普通株式 132,000	-	-
発行済株式総数	17,666,000	-	-
総株主の議決権	-	17,448	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
花月園観光株式会社	横浜市中区桜木町三丁目7番2号	86,000	-	86,000	0.49
計	-	86,000	-	86,000	0.49

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,283	124,757
売掛金	66,538	68,430
短期貸付金	40,000	5,000
未収入金	40,969	8,275
立替金	6,639	14,014
その他	1,320	1,206
流動資産合計	209,752	221,685
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	331,326	323,558
構築物(純額)	19,071	18,446
機械及び装置(純額)	398	342
車両運搬具(純額)	38	38
工具、器具及び備品(純額)	2,598	10,465
リース資産(純額)	131,122	120,041
土地	443,206	443,206
有形固定資産合計	927,764	916,100
無形固定資産	10,885	9,563
投資その他の資産	318,032	353,202
固定資産合計	1,256,682	1,278,866
資産合計	1,466,435	1,500,551

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	46,200	46,200
リース債務	50,932	46,378
未払金	12,755	10,800
その他	11,191	37,252
流動負債合計	121,079	140,631
固定負債		
長期借入金	160,150	137,050
リース債務	128,060	107,239
繰延税金負債	21,530	22,559
退職給付引当金	22,558	22,558
負ののれん	14,925	12,842
長期預り金	130,000	130,000
その他	5,000	8,603
固定負債合計	482,224	440,853
負債合計	603,304	581,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	420,828	366,679
自己株式	10,378	10,482
株主資本合計	851,743	905,787
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,388	13,279
評価・換算差額等合計	11,388	13,279
純資産合計	863,131	919,066
負債純資産合計	1,466,435	1,500,551

(2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	173,495	192,329
売上原価	26,574	31,778
売上総利益	146,920	160,551
販売費及び一般管理費	¹ 132,985	¹ 108,241
営業利益	13,935	52,309
営業外収益		
受取利息	2,935	2,818
受取配当金	671	749
負ののれん償却額	2,082	2,082
保険解約返戻金	-	4,493
その他	524	140
営業外収益合計	6,213	10,285
営業外費用		
支払利息	5,431	7,651
その他	249	249
営業外費用合計	5,681	7,901
経常利益	14,467	54,692
特別利益		
受取補償金	² 36,444	-
受取設備負担金	-	5,131
特別利益合計	36,444	5,131
特別損失		
関係会社清算損	-	1,260
特別損失合計	-	1,260
税引前四半期純利益	50,912	58,563
法人税、住民税及び事業税	2,564	4,414
法人税等合計	2,564	4,414
四半期純利益	48,347	54,148

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	50,912	58,563
減価償却費	10,354	21,520
のれん償却額	1,116	1,116
負ののれん償却額	2,082	2,082
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,548	-
受取利息及び受取配当金	3,606	3,567
支払利息	5,431	7,651
受取補償金	36,444	-
売上債権の増減額(は増加)	24,879	1,892
未払消費税等の増減額(は減少)	1,530	10,557
預り金の増減額(は減少)	5,712	18,015
その他	24,574	16,432
小計	7,646	126,314
利息及び配当金の受取額	3,512	3,434
利息の支払額	5,468	7,589
補償金の受取額	36,444	-
法人税等の支払額	7,807	1,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,327	120,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付けによる支出	35,000	-
短期貸付金の回収による収入	15,000	-
有形固定資産の取得による支出	500	-
差入保証金の差入による支出	10	-
保険解約返戻金の受取額	-	4,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,510	4,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	20,550	23,100
リース債務の返済による支出	14,920	25,375
割賦債務の返済による支出	-	5,692
自己株式の取得による支出	88	104
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,559	54,271
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	8,258	70,474
現金及び現金同等物の期首残高	94,637	54,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,895	124,757

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
投資その他の資産	30,000千円	30,000千円

(四半期損益計算書関係)

1.販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
給与及び手当	56,314千円	43,575千円

2.受取補償金の内容

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
サテライトかしまに関する東京電力株 からの営業損害補償金	36,444千円	-

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	102,895千円	124,757千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	102,895千円	124,757千円

(持分法損益等)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	-	-
持分法を適用した場合の投資の金額	-	-
	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
持分法を適用した場合の投資損失の金額()	-	5,568千円

- (注) 1. 前事業年度において関連会社の長期貸付金に対する貸倒引当金30,000千円を計上しております。
2. 前事業年度及び前第2四半期累計期間は、損益等からみて重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、競輪関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円75銭	3円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	48,347	54,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	48,347	54,148
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,584	17,580

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

花月園観光株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野島 透 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている花月園観光株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第78期事業年度の第2四半期会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、花月園観光株式会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管してあります。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。